

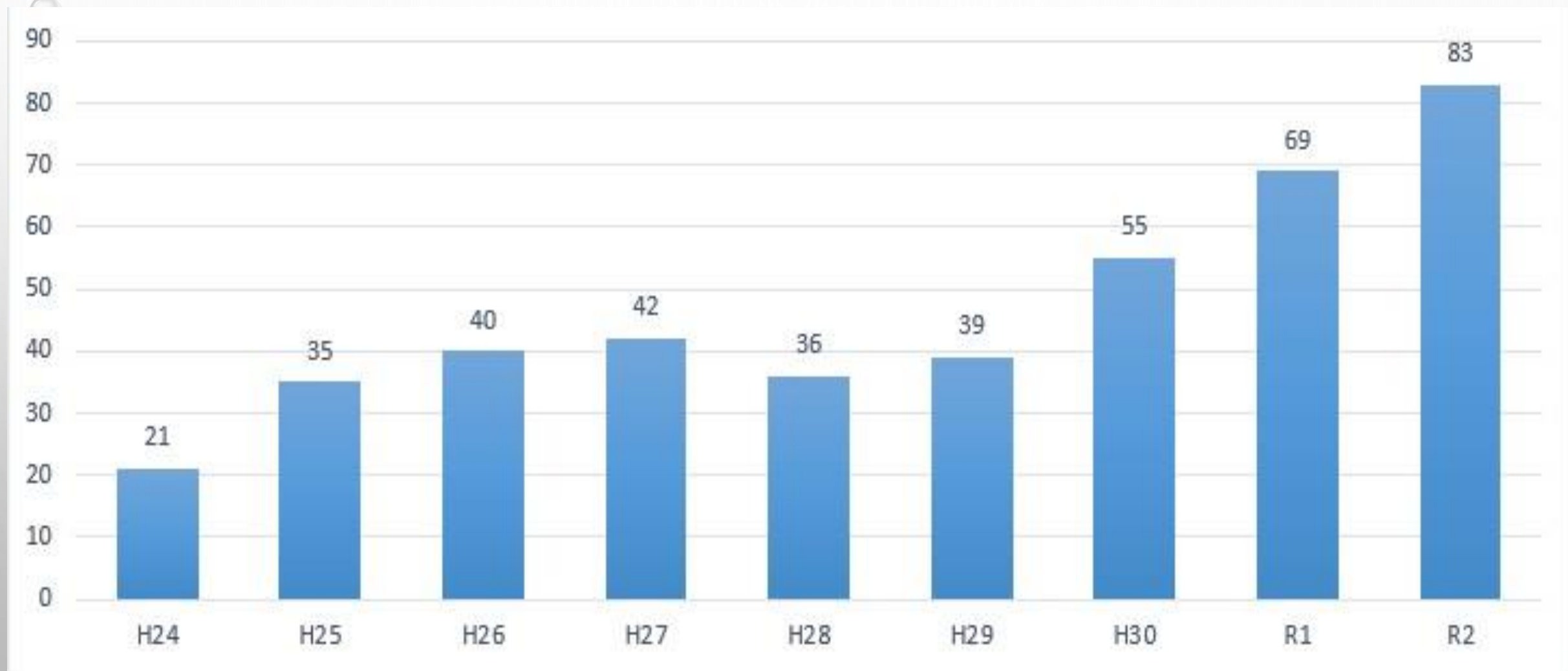
2020年度子どもの日本語教育研究会特別企画「九州・沖縄からの発信ー学校・地域の支援、受入れ・指導体制の今ー

受け入れ・支援体制の事例報告 佐賀県の支援体制について

令和2年8月23日(日)

佐賀県教育庁教育振興課
指導主事 吉原 正

1. 佐賀県内の公立小・中学校における帰国・外国人児童生徒等の在籍状況



2. 佐賀県の支援体制(H26)

- **県教育委員会**: 日本語初期指導を行う非常勤講師を県内小中学校に派遣
- **市町教育委員会**: 各市町ごとの独自支援
- **小中学校**: 自助努力
- **佐賀県国際交流協会**: 日本語初期指導を行うボランティアのサポーターを派遣
- **佐賀県日本語学習支援“カスタネット”**: 日本語学習支援

⇒ **実態把握が必要**

3. 支援体制の整備に向けた取組（H28～）

○ 日本語指導連絡協議会の設置

- 文部科学省：公立学校における帰国・外国人児童生徒に対するきめ細かな支援事業の活用
- 県教育委員会、市教育委員会、小中学校校長・日本語指導担当教員、佐賀県国際交流協会、佐賀県日本語学習支援“カスタネット”、大学の専門家が参加
- 年4回開催
- 日本語指導担当教員による公開授業を年1回実施

○ 日本語指導担当教員の配置

- 佐賀市内の2小学校から始まり、現在、県内3小学校、1中学校に配置
- 効果的な研究を行うため、日本語初期指導を行う非常勤講師も併せて配置

○ 佐賀県国際交流協会及び佐賀県日本語学習支援“カスタネット”との連携

- 佐賀県国際交流協会との定例会の開催〔6回開催〕
- 協会による外国につながりのある児童生徒が在籍する学校への訪問
- 文書発送への協力

◇ 佐賀県日本語学習支援”カスタネット”主催の日本語指導研修会のチラシ

第3弾

外国につながる子どもへの教育支援を考える

近年、佐賀県の外国人住民数は増加傾向にあります。また、あらゆる分野でグローバル化が進む中、“外国につながる子ども”も増え、日本語指導が必要な児童生徒も増加傾向にあります。そこで、外国につながる子どもの日本語支援・学習支援について考える講座を開催します。外国につながる子どもの支援とは何か？ 私たちにできることは？ それぞれの役割や関係機関との連携のあり方、指導力の向上をどう図っていくか？ 等について考える、県内3つの機関が連携した講座です。今回はその最終回のご案内です。

学校現場で活躍
中の方のために

佐賀県日本語学習支援“カスタネット”主催

平成29年度文化庁委託「生活者としての外国人」のための日本語事業

子ども日本語指導者研修会

「DLA『読む』の実践法と評価法について」

- ◆日時◆ 2018年2月24日(土) 13:00～17:00
- ◆場所◆ 佐賀商ビル7階 大会議室 (佐賀市白山2-1-12)
- ◆対象◆ 学校現場で日本語指導に関わっている方々
(DLAの基礎知識を有している方)
- ◆講師◆ 同志社大学 日本語・日本文化教育センター
准教授 櫻井 千穂 氏
- ◆申込み◆ 佐賀県日本語学習支援“カスタネット”
E-mail: castanetsnihongo@yahoo.co.jp
担当: 早瀬(カスタネットforキッズ)
※定員になり次第締め切らせていただきます。

*** 講師紹介 ***

『外国人児童生徒のためのJSL対話型アセスメントDLA』の研究推進委員として作成に関われ、現在も実践者養成のための講師育成研修の講師や各地で数々の講演会をされています。実際に児童生徒の指導にも関わられています。

これまで実施された
セミナー

SPIRA主催 外国につながる子ども支援セミナー

外国につながる子どもの現状と課題

～「あなた」にもできる、はじめの一歩～

外国につながるを持つ子どもとは？というテーマで、日本語指導の必要性や、子どもと接する際の心得についての講座を開催しました。

- ◆日時◆ 2017年10月17日(火)
- ◆講師◆ 群馬大学教授 結城 恵 氏

佐賀県教委主催の研修会

外国につながりを持つ児童生徒への教育支援の現状や課題を共有するとともに、今後の日本語指導等や支援体制の充実を図るため、市町教育委員会や学校の職員を対象とした研修会等を開催しました。

- ◆日時◆ 2017年11月21日(火)
- ◆講師◆ 東京学芸大学准教授 菅原 雅枝 氏

* 佐賀県の子ども支援 *

日本語指導が必要な子どもやその支援者に対して、SPIRA、カスタネット、佐賀県教育委員会が行っている取組の一つを紹介します。

●佐賀県教育委員会

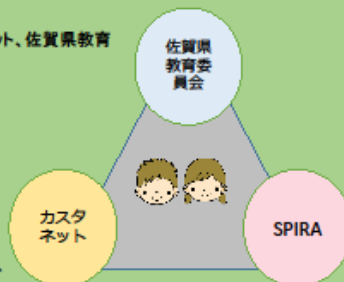
日本語指導を必要とする児童生徒が在籍する小・中学校及び義務教育学校に、日本語の指導や教科の学習指導などのための教員の配置や非常勤講師の派遣等を行っている。

●(公財)佐賀県国際交流協会(SPIRA)

新年度がスタートする4月から非常勤講師の配置がなされる6月までの期間にサポーターを派遣し日本語の初期指導を担う。

●佐賀県日本語学習支援 カスタネット

学校現場で日本語指導をしている方に対しスキルアップの学習機会を提供し、子どもたちへの適切な支援につなげている。



◇ 協会配布のチラシ

* 佐賀県の子ども支援 *

日本語指導が必要な子どもやその支援者に対して、SPIRA、カスタネット、佐賀県教育委員会が行っている取組の一つを紹介します。

● 佐賀県教育委員会

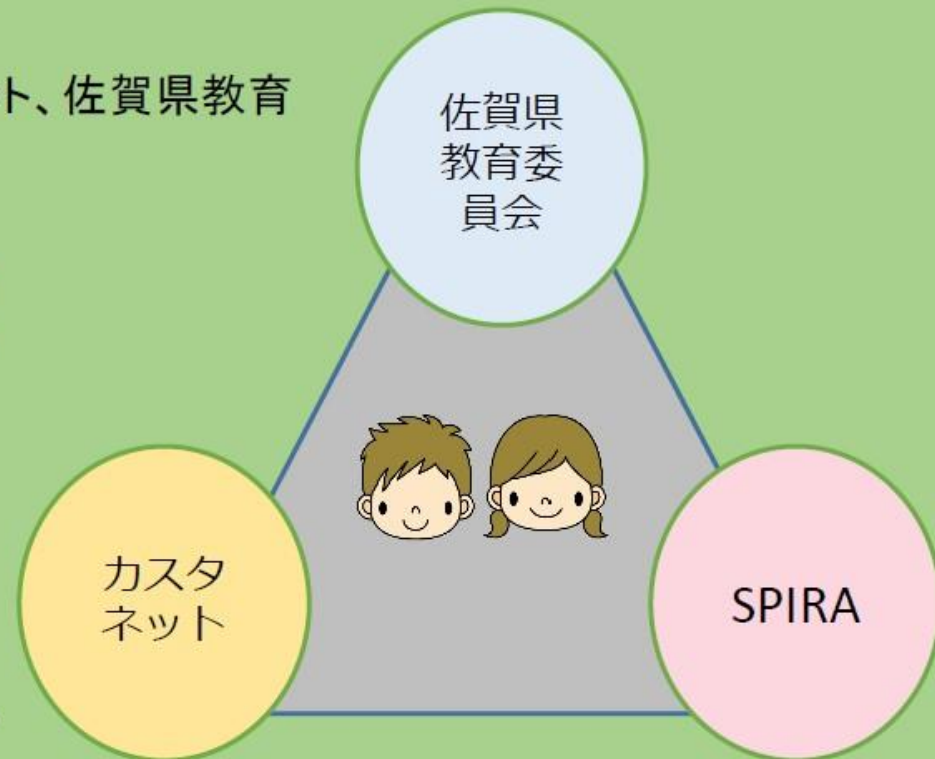
日本語指導を必要とする児童生徒が在籍する小・中学校及び義務教育学校に、日本語の指導や教科の学習指導などのための教員の配置や非常勤講師の派遣等を行っている。

● (公財)佐賀県国際交流協会 (SPIRA)

新年度がスタートする4月から非常勤講師の配置がなされる6月までの期間にサポーターを派遣し日本語の初期指導を担う。

● 佐賀県日本語学習支援 カスタネット

学校現場で日本語指導をしている方に対しスキルアップの学習機会を提供し、子どもたちへの適切な支援につなげている。



4. 今後の取組

- 1 非常勤講師の研修〔令和2年2月19日(金)〕
 - 文部科学省「外国人児童生徒等アドバイザー派遣事業」
- 2 DLA支援員派遣事業のきっかけとした特別の教育課程の編成・実施の推進
 - 市町教育委員会と連携した特別の教育課程による日本語指導
- 3 日本語初期指導の佐賀県版カリキュラム作成の検討
 - 日本語初期指導に関わる日本語サポーターや非常勤講師の指導内容を検討。